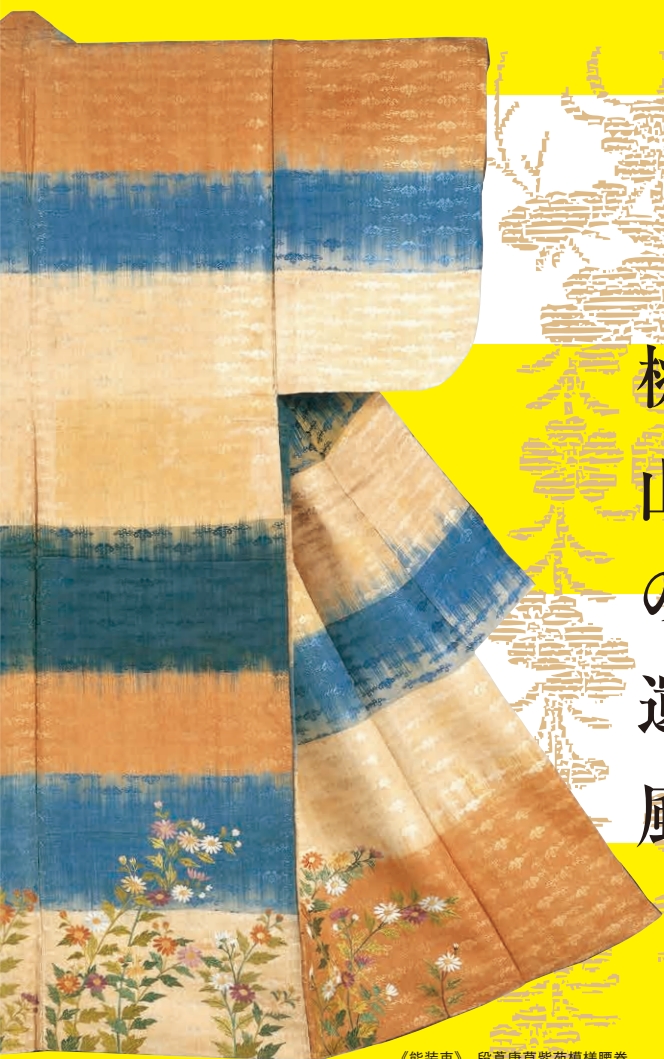


Noh and Kyogen

珠玉の林原美術館コレクション

能狂言

桃山の遺風



《能装束》 段葛唐草紫菀模様腰巻



《能面》 宝増 江戸時代 林原美術館蔵

2025 令和7年 秋季特別展

10 | 11(土)

11 | 24(月・祝)

前・後期で大幅な展示替えがあります。※休館日=10/30(木)・31(金)

前期=10/11~10/29

後期=11/1~11/24

開館時間=9時~19時(入場は18時30分まで)

会場= 福井市立郷土歴史博物館

観覧料=一般900円/高・大生600円

※中学生以下、70歳以上、障がい者とその介助者は無料

主催= 福井市立郷土歴史博物館

共催= 福井新聞社

特別協力= 一般財団法人林原美術館

後援= 福井新聞社、NHK福井放送、FBC、福井テレビ、
福井ケーブルテレビ・さかいケーブルテレビ、福井街角放送

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井県福井市宝永3丁目12-1

TEL:0776-21-0489



芸術文化振興基金助成事業

《能装束》 薔薇枝垂桜熨斗流水散桜模様長絹
江戸時代 林原美術館蔵



令和7年 秋季特別展

珠玉の林原美術館コレクション

能と狂言 桃山の遺風

寺社の延年舞や田楽、猿楽を起源とする能は、江戸時代に武家の式楽と定められ、大名家においても祝儀や年中行事として能・狂言が催されたことが、記録からわかります。また、越前は中世から能面の生産地として知られ、越前目家や大野目家といった名だたる面打ちを輩出しました。本展では、一般財団法人林原美術館の特別協力のもと、旧岡山藩に伝来した能狂言コレクションから重要文化財の桃山時代の能装束を中心に、能・狂言の精華をご覧いただきます。現在も越前の地に遺される面や、江戸時代の越前松平家における史料や能装束を通して、土地の歴史を振り返る機会となれば幸いです。



重要文化財（後期展示）

《能装束》 紅地桜丸文葛模様縫箔
桃山時代 林原美術館蔵



重要文化財（前期展示）

《能装束》 紅白段枝垂桜模様摺箔
桃山時代 林原美術館蔵



重要文化財（前期展示）

《能装束》 白地草花模様肩裾縫箔
桃山時代 林原美術館蔵



重要文化財（後期展示）

《能装束》 紅白段格子枝垂桜模様唐織
桃山時代 林原美術館蔵



重要文化財（前期展示）

菊桐亀甲模様唐織小袖
伝池田絳子所用
桃山時代 林原美術館蔵



重要文化財（後期展示）

《能装束》 雪持ち芦水鳥模様
桃山時代 林原美術館蔵

越前と能・狂言



《狂言面》 乙
江戸時代 氣比神社蔵



《狂言面》 猿
江戸時代 林原美術館蔵



《狂言装束》 肩衣
江戸時代 林原美術館蔵

狂言 ― 現世のおかしみ ―



《能装束》
紅浅葱茶段流水菊花模様唐織
越前松平家伝来
江戸時代 彦根城博物館蔵

能 ― 花の風姿 ―



《能面》 中喰食
越前松平家伝来
江戸時代 彦根城博物館蔵

イベント情報

●10月13日(月祝)は、こどもワイワイDAY★

小さなお子様連れやお友達と一緒に楽しくご覧下さい。

●こども能楽ワークショップ 10月13日(月祝)午後2時～3時30分

対象: 小学4年生～中学生(小学生は保護者同伴) ※要申し込み
講師: 福岡聡子氏(宝生流シテ方職分)、大橋紀美氏(観世流太鼓方) 料金: 無料

●講演会 11月1日(土)午後2時～3時

「岡山藩主池田家の能楽―二代藩主池田綱政を中心として」
講師: 橋本龍氏(林原美術館学芸課長)

●ギャラリートーク

10月12日(日)・19日(日)、11月16日(日)・23日(日)午後2時～ 40分程度

●おとな能楽ワークショップ 10月26日(日)午後5時30分～7時

養浩館の夕べに、能楽「羽衣」の謡をうたってみませんか?

対象: 高校生以上 ※要申し込み
講師: 福岡聡子氏(宝生流シテ方職分)
料金: 展覧会チケットとセットで 1500円

●深掘り講座 11月9日(日)午後2時～3時

「桃山時代の衣装と能装束」
講師: 佐々木佳美(本展担当学芸員)



※詳細は当館HPで。10月1日(月)から申し込み開始(先着順)